

日本 RNA 学会会報

No.20 (2009 年 4 月)

目 次

巻頭言：日本の RNA 研究への熱い期待	1
日本 RNA 学会 第 11 回総会のご案内	2
第 11 回 RNA ミーティング (日本 RNA 学会年会) のお知らせ	
第 11 回 RNA ミーティングのご案内	3
参加および発表申込のご案内	8
企業展示のご案内	9
要旨集広告掲載のご案内	11
交通アクセス	13

日 本 R N A 学 会
(THE RNA SOCIETY OF JAPAN)
wwwsoc.nii.ac.jp/rnaj/

巻頭言

日本のRNA研究への熱い期待

名古屋大学 稲田 利文

今年の『Cell』の2月20日号はRNAの特集号でした。小分子RNAが様々な遺伝子発現制御に深く関与することが明らかになり、発現制御機構の主役としてのRNAの重要性が改めて認識されていることを明確に示しています。最近の小分子RNA研究の発展は目覚ましいものがあり、小分子RNAの主な標的であるmRNAの細胞内制御機構の解析が、小分子RNAによる発現制御を理解する上でより一層重要になってきています。また小分子RNAによる発現制御の分子機構を理解するためには、翻訳やmRNA分解の分子メカニズムの理解が不可欠であることはいうまでもありません。日本RNA学会は比較的小さい学会ですが、RNA関連のほとんどの分野が含まれており、質の高い研究発表を効率良く聞くことが出来ます。適切な人数のRNA研究者が一堂に会することによって各分野間の交流が活性化され、結果として新しい研究の芽が育つことが、最も期待されるRNA学会の役割の1つだと思います。特に若い研究者の方々は、自分の研究テーマに直接関係する発表だけでなく、全てのセッションの発表を聞くことをお勧めします。

日本では、欧米ではあまりみられない大規模なグループ研究が歴史的に設定されてきました。昨年度から、異分野融合により新しい研究領域を形成することを目標とした新学術領域研究の新規募集が開始され、mRNAが関与する発現制御の分子メカニズムの解明を目標とする領域が採択されました。採択に至る過程で、日本国内でもRNA研究の重要性が強く認識されていることを実感しました。これは過去のRNA関連の特定領域で行われた研究が、生命系の研究者コミュニティに高く評価されている結果であることは言うまでもありません。今後もRNA関連の新たな領域が形成され、日本のRNA研究がますます発展していくことが期待されます。

第11回年会は新潟大学の内海先生が主催されますが、アジアで初めて開催されるInternational RNA Meetingに弾みを付けるべく、我が国のRNA若手研究者への熱い思いが込められた企画となっています。新潟の夏の暑さに負けない、「熱い」学会になるように盛り上げていきたいと思っています。

日本RNA学会 第11回総会のご案内

第11回RNAミーティングの第2日目に、日本RNA学会第11回総会を下記の要領にて開催致しますので、多くの会員のご出席をお願い致します。

(会長 中村 義一)

記

日時：平成21年7月28日(火) 午後5時00分～6時00分

場所：朱鷺メッセ スノーホール(メインホール)A

ご欠席の会員は、この会報に添付されている委任状をご送付ください。
締め切りは、7月20日(月)です。

第11回RNAミーティング(第11回日本RNA学会年会)のご案内

第11回日本RNA学会年会(第11回RNAミーティング)は、7月27日(月)から29日(水)まで、朱鷺メッセ新潟コンベンションセンターにて開催致します。2011年に日本、アジアで初めて開催されるInternational RNA Meetingを2年後に控え、我が国のRNA若手研究者に今まで以上にactiveな研究をしてもらいたいという願いをこめて「RNA再発掘への出航」というテーマをかかげました。今回は、各セッションで注目すべき演題を、The topic of the sessionとして紹介し、少々長めの発表を依頼する他、優秀ポスター賞を選定します。これらに選定された演題と研究者は日本RNA学会のホームページで1年間公表する予定です。どうかふるってご参加下さいますようご案内申し上げます。

会期：2009年7月27日(月)～7月29日(水) 3日間

会場：朱鷺メッセ 新潟コンベンションセンター

「スノーホール(メインホール)A・B」

〒950-0078 新潟市中央区万代島6番1号 電話：025-246-8400

<http://www.tokimesse.com/>

主催：日本RNA学会

スケジュール(予定)(セッションの開始、終了時間はプログラム決定に伴い多少前後します。予めご了承下さい)

7月27日(月)	9:00～	参加登録受付
		ポスター 貼付セットアップ/企業展示準備
	10:00～12:00	開会挨拶 口頭発表①
	12:00～13:00	昼食
	13:00～15:00	ポスターセッション①
	15:00～18:00	口頭発表②
7月28日(火)	8:30～	参加登録受付
	9:00～12:00	口頭発表③
	12:00～13:00	昼食
	13:00～15:00	ポスターセッション②
	15:00～17:00	口頭発表④
	17:00～18:00	日本RNA学会総会
	18:30～21:00	懇親会 <ホテル日航新潟>
7月29日(水)	8:30～	参加登録受付
	9:00～12:00	口頭発表⑤
	12:00～13:00	昼食
	13:00～16:00	口頭発表⑥
	16:00～	閉会挨拶

演題

- ・口頭発表（50～60題程度を予定）
- ・ポスター発表（7月27日、28日の2日間。セッション2回）
 - 口頭発表希望が多数の場合は、プログラム委員会で審査を行った結果、ポスター発表にさせて頂く場合もございます。またポスター発表ご希望の場合も、特にプログラム委員の推薦があったものについては、口頭発表をお願いする場合があります。予めご了承下さい。
- ・The topic of the session と優秀ポスター賞について
 - 口頭発表の各セッションで注目すべき演題を The topic of the session として紹介します。この演題は他の一般演題より発表時間が長くなります。
 - またポスターセッションの中から特に優れた発表には優秀ポスター賞として発表します。これらの発表は日本RNA学会のホームページで1年間公表する予定です。

Scientific Topics

1. tRNA・リボソーム・翻訳機構
2. 品質管理・翻訳制御
3. RNA/RNP 構造・テクノロジー
4. プロセッシング・輸送・局在
5. non-coding RNA
6. 高次生命現象

プログラム委員

伊藤 耕一（東京大学）	塩見 春彦（慶應義塾大学）
井川 善也（九州大学）	塩見美喜子（慶應義塾大学）
稲田 利文（名古屋大学）	鈴木 勉（東京大学）
井上 邦夫（神戸大学）	中村 輝（理化学研究所）
大野 睦人（京都大学）	廣瀬 哲郎（産業技術総合研究所）
尾之内 均（北海道大学）	姫野 俵太（弘前大学）
河合 剛太（千葉工業大学）	

参加費

学会当日、参加費受付にてお支払い下さい。

	日本RNA学会会員	日本RNA学会非会員
一般	13,000円	18,000円
学生	5,000円	7,000円

日本RNA学会の一般会員の年会費は7,500円です。本学会へご入会を頂いていない方

で、今回のミーティングへの参加をご希望の方には、ぜひ、この機会に学会へのご入会をお勧め致します。入会申込み方法の詳細に関しましては、次頁の参加および発表申込の中でご案内しております。参加費の領収書をご希望の場合は、学会当日受付デスクにて発行致しますので、お申し出下さい。

要旨集の公開日について

特許出願等の関係から、年会要旨集の公開日に関するお問い合わせを頂きますが、要旨集は年会初日の7月27日から配布、公開となりますのでご留意下さい。

なお、日本RNA学会は、2005年7月22日付で、特許庁が指定する学術団体に認定されております。これにより特許法第30条「新規性喪失の例外」が適用されますので、年会での発表後、6ヶ月以内であれば出願可能となります。

懇親会について

日 時：7月28日（火） 18:30～21:00

会 場：ホテル日航新潟

最上階展望室より新潟の夕日と夜景をゆっくりとお楽しみ下さい。

会 費：一般 5,000円 学生 2,000円

参加者の皆様に一部懇親会費のご負担をお願い致しますが、円滑な年会運営を行うためにどうかご理解下さいますようお願い申し上げます。

昼食会場および弁当販売について

朱鷺メッセ内にはレストランがございますが、席数も限られており、周辺に飲食店も少ないため、年会事務局にて、年会開催期間中3日間、幕の内弁当を販売致します。

ご希望の方は参加および発表申込の際に、あわせてお申込下さい。昼食代料金は参加受付時にお支払い下さい。

（詳細は参加発表申込欄にてご確認ください）

参加および発表申込

発表者として応募できるのは、2009年度日本RNA学会年会費既納の本学会員に限られます。代表発表者になれる発表は1人1題までとします。他の発表の連名者になることは差し支えありません。

新規入会申込および年会費支払いに関するお問合せは、(株)クバプロ内日本RNA学会事務局までお問合せ下さい。

【発表申込締切日：2009年5月20日（水）午後5時（必着）】

【参加登録及び懇親会申込締切日：2009年7月21日（火）】

締切日以降も受付致しますが、準備の都合上、なるべく期日までにお申込み下さいますようご協力願います。懇親会については、定員になりましたらお申し込みを締め切る場合もございます。予めご了承下さい。

【日本RNA学会への入会方法】

年会費および入会金

入会費：1,000円

年会費：一般会員年額 7,500円（2008年度より金額が変わっております）

学生会員年額 2,000円（年会費に変更はございません）

賛助会員年額一口 30,000円（入会金は不要）

日本RNA学会へ新規入会をご希望の方は、下記ウェブアドレスより、申込フォームに必要事項を入力後、送信して入会の手続きを行ってください。後日、日本RNA学会事務局より会費振込用紙が届きます。

<http://www.kuba.co.jp/cgi-bin/rnaj/formmail.cgi>

[入会申込に関する連絡先]

日本RNA学会事務局

〒102-0072 東京都千代田区飯田橋3-11-15 UEDAビル6F

(株)クバプロ内 担当：齋藤

E-mail：rnaj@kuba.jp

電話：03-3238-1689 FAX：03-3238-1837

宿泊予約について

本年度は旅行会社等による宿泊施設のご案内は行っておりません。

近日中にホームページにて新潟市内の宿泊施設をご紹介します。

その他

1) 第11回日本RNAミーティングのホームページアドレスは次の通りです。

会議内容の詳細はホームページ上にて随時更新してご案内させていただきます。

年会専用ホームページ：<http://wwwsoc.nii.ac.jp/rnaj/RNA2009/>

2) 会議内容に関するご質問等は下記までお問い合わせ下さい。

なるべく、下記、年会専用メールアドレスへの電子メールでのご連絡をお願い致します。

【事務局担当者】

世話人(年会長)：内海利男(新潟大学理学部生物学科・教授)

運営統括：伊東孝祐(新潟大学理学部生物学科・助教)

運営委員：梨本正之(新潟薬科大学・応用生命科学部・教授)

高久洋暁(新潟薬科大学・応用生命科学部・准教授)

運営・事務担当：東 牧子(日本RNA学会年会事務局)

【連絡先】

第11回日本RNA学会年会事務局

〒950-2181 新潟市西区五十嵐2の町8050

新潟大学理学部生物学科 内海研究室気付

年会長 内海 利男

年会専用メールアドレス：rna2009@bio.sc.niigata-u.ac.jp

TEL&FAX：025-262-7792

参加および発表申込のご案内

参加および発表申込は、次の事項について、電子メールにてお送り下さい。
折り返し、担当者より申込確認のメールをお送り致します。

送信先メールアドレス： rna2009@bio.sc.niigata-u.ac.jp

【参加および発表申込】

- 1) お名前（漢字とふりがなの両方）
- 2) 所属および身分
- 3) 連絡先（郵便番号・住所・E-mail・TEL・FAX）
- 4) 日本RNA学会会員かどうかについて（会員・非会員）
- 5) 7月28日開催の懇親会のご出欠
- 6) 発表の有無について
- 7) 発表する場合
 - a) 発表形式の希望（オーラル・ポスター）
 - b) 発表題目
 - c) セッション分野（4頁のScientific Topic 番号でお答え下さい）
 - d) キーワード5つ
 - e) 要旨 Microsoft Wordで作成、保存し、添付送信して下さい。
12頁の要旨見本を参考にして、必ず、以下の項目に従って作成下さい。
 1. 用紙はA4サイズで、マージンは上下40mm、左右35mmです。
 2. フォントは、日本語は明朝、英語はTimes、Times New Roman等を使用し、ポイントは12ポイントでお願いします。
 3. 和文タイトル、著者、英文タイトル、著者の順に並記して下さい。
 4. 和文タイトル、英文タイトルともBoldをかけて下さい。
 5. 発表者には○印をつけて下さい。
 6. 要旨集サイズはA5になります。お送り頂いたA4原稿をそのまま縮小印刷しますのでご留意下さい。
※例年、見本と異なる要旨が多数あり、編集作業に時間を取りますので、必ず見本に従って作成して下さい。
 7. 要旨のファイル名は発表者の氏名にして下さい。
- 8) 昼食弁当のお申込みについて
昼食弁当（@800円お茶付）をご希望になる方は、お弁当をご希望になる日を回答下さい。（必要：○・不要：×）

7月27日（水）	記入例：7月27日（水）○	
7月28日（木）	7月28日（木）×	
7月29日（金）	7月29日（金）○	計2回

※期間中通して申込をされない場合は、「不要」と記載下さい。

企業展示のご案内

学会開催期間中、企業展示を行います。

オーラル会場の隣のポスター会場内に展示コーナーを設ける予定です。
展示ブースの小間割りについては応募企業数によって決定します。

- 1) 展示会期：2009年7月27日（月）～29日（水）午前まで
搬入・準備：7月26日（日）午後（27日の午前でも結構です）
展示：7月27日（月）～29日（水）午前
搬出・撤去：7月29日（水）午後
- 2) 展示会場：朱鷺メッセ 新潟コンベンションセンター
「スノーホール（メインホール）」
〒950-0078 新潟市中央区万代島6番1号 電話：025-246-8400
<http://www.tokimesse.com/>
- 3) 参加者数：300名前後
- 4) 主催：日本RNA学会
- 5) 出展料：

区分	日本RNA学会賛助会員	日本RNA学会非賛助会員
出展料	30,000円	60,000円
広告掲載費	出展頂ける企業の方には無料で要旨集への広告を承ります	

日本RNA学会の賛助会員でない企業の皆様には、年会費相当分の金額を出展料に加算させて頂いております。

- 6) 展示ブースについて（詳細はお申込み後に展示要項をご送付致します）
パネル2枚・机1台・電源コンセント1口
- 7) 申し込み
広告掲載にご協力頂ける企業の方は下記の必要事項を記載のうえ、年会専用アドレスまで電子メールでお申し込み下さい。折り返し、担当者よりご連絡致します。
 1. 企業名
 2. 担当者名
 3. 担当者所属部局名
 4. 連絡先（郵便番号・住所・E-mail・TEL・FAX）
 5. 日本RNA学会賛助会員かどうかについて
 6. 要旨集への広告掲載をご希望かどうかについて
（希望される場合、広告掲載料は無料にて承ります）
- 8) 展示出展料のお支払方法：

要旨集広告掲載のご案内

お申込みを頂きました後、担当者より請求書をご送付致しますので、7月3日(金)までに指定の口座にお振込みをお願い致します。

口座名：第四銀行(だいしぎんこう) 内野支店(店番号：237)

口座番号：1796462 普通預金

口座名義：第11回日本RNA学会年会 年会長 内海利男
(ダイジュウイッカイニッポンアールエヌエーガッカイ)

- 9) 展示申込締切日：2009年6月12日(金)
- 10) 連絡先：(なるべく電子メールでのご連絡をお願い致します)
第11回日本RNA学会年会事務局(担当：東)
〒950-2181 新潟市西区五十嵐2の町8050
新潟大学理学部生物学科 内海研究室気付
年会長 内海 利男
年会専用メールアドレス：rna2009@bio.sc.niigata-u.ac.jp
TEL&FAX：025-262-7792
- 11) 日本RNA学会賛助会員入会・継続についてのお問い合わせ
6頁の日本RNA学会への入会のご案内を参照下さい。

第11回日本RNA学会年要旨集への広告掲載について、下記のとおりご案内申し上げます。この趣意にご賛同頂き、ご検討下さいますようお願いいたします。多数のご応募をお待ちしております。

- 1) 要旨集発行部数：400冊を予定(配布対象：学会参加者・賛助会員・関係各所)
2) 申込期間：2009年4月1日(水)より2009年6月13日(金)まで
3) 広告掲載料

区分	日本RNA学会賛助会員	日本RNA学会非賛助会員
掲載料	10,000円	30,000円

- 4) 申し込み方法：
広告掲載にご協力頂ける企業の方は下記の必要事項を記載のうえ、年会専用アドレスまで電子メールでお申し込み下さい。折り返し、担当者よりご連絡致します。
- 1) 企業名
 - 2) 担当者名
 - 3) 担当者所属部局名
 - 4) 連絡先(郵便番号・住所・E-mail・TEL・FAX)
 - 5) 日本RNA学会賛助会員かどうかについて
 - 6) 企業展示出展をご希望かどうかについて
(希望される場合、広告掲載料は無料にて掲載を承ります)
- 5) お支払方法：
お申込みを頂きました後、担当者より請求書をご送付致しますので、7月3日(金)までに指定の口座にお振込みをお願い致します。
口座名：第四銀行(だいしぎんこう) 内野支店(店番号：237)
口座番号：1796462 普通預金
口座名義：第11回日本RNA学会年会 年会長 内海利男
(ダイジュウイッカイニッポンアールエヌエーガッカイ)
- 6) 版下について：
電子メールもしくはCD等電子媒体でお送り頂く場合は、完全版下、郵送でお送り頂く場合は、完全ポジ原稿でお送り下さい。
本学会の要旨集はA5サイズです。A4の原稿を頂くと縮小して印刷を致しますので、ご留意下さい。版下送付締切日は6月30日(火)です。
- 7) 連絡先：(なるべく電子メールでのご連絡をお願い致します)
[要旨集広告掲載申込送付先および問い合わせ先]
第11回日本RNA学会年会事務局(担当：東)
〒950-2181 新潟市西区五十嵐2の町8050
新潟大学理学部生物学科 内海研究室気付 年会長 内海 利男
年会専用メールアドレス：rna2009@bio.sc.niigata-u.ac.jp TEL & FAX：025-262-7792
- 8) 日本RNA学会賛助会員入会・継続についてのお問い合わせ
6頁の日本RNA学会への入会のご案内を参照下さい。

Microsoft Wordで作成し、ファイル名を発表者氏名にする。例) uchiumi.doc、内海.doc等
 マージン：上下40mm・左右35mmあける。ポイント：12ポイント
 フォント：日本語は明朝体。英語はTimes、Times New Roman等を使用する。

※ 所属機関の記載方法に注意！数字等

PSIVゲノムRNAの3'-UTRによる翻訳促進機構の解析：促進をもたらす構造エレメントの同定

○井上悠¹、水口伊玖磨¹、山本紘¹、中島信彦²、内海利男¹

(¹新潟大・理、²農業生物資源研)

所属機関の略称は正しい表記で記載すること

タイトル
Bold

Analysis of translation enhancement mechanism by the 3'-UTR of PSIV genomic RNA: Identification of the structural element responsible for the enhancement

発表者に○印

要注意 1と2両方所属の場合は1,2と記載

○Haruka Inoue¹, Ikuma Mizuguchi¹, Hiroshi Yamamoto¹, Nobuhiko Nakashima², Toshio Uchiumi¹

(¹Fac. Sci., Dept., Niigata Univ., ²National Institute of Agrobiological Sciences)

チャバネアオカメムシ腸管ウイルス (*Plautia stali* intestine virus, PSIV) は一本鎖RNAゲノムを持つ。ゲノム中における外被タンパク質遺伝子コード領域の上流近傍には、リボソーム内部進入部位 (internal ribosome entry site, IRES) が存在し、翻訳開始において①開始tRNAを必要としない、②開始コドンAUG (メチオニン) でなくても良い、というユニークな特徴を持っている。PSIV IRESについての研究は進んでいるが、この遺伝子の3'側の非翻訳領域 (3'-untranslated region, 3'-UTR) の翻訳に関わる機能についてはほとんど明らかにされていない。

PSIV 3'-UTRの存在がIRES依存の翻訳効率を数倍に上昇させることがこれまでの我々の研究により示されている。そこで今回、PSIV 3'-UTRにおける翻訳促進部位の特定のため、PSIV 3'-UTRの各種変異体を用いた実験を行った。M-foldによる二次構造予測によると、PSIV 3'-UTRは5本のステム・ループ (SL) 構造から構成される。これらのSLをそれぞれ1本ずつにした変異体 (SL-I、II、III、IV、V) を作製した。外被タンパク質遺伝子コード領域は、レポーター遺伝子としてホタルルシフェラーゼ遺伝子に置換し、昆虫細胞抽出液による *in vitro* 翻訳を行い、ルシフェラーゼ活性を測定した。その結果意外なことに、SL-II、III、IV、Vの全てについて単独での翻訳促進を示した。これらSL-II、SL-IV、SL-Vは全く同等のループ構造を保有し、SL-IIIも類似のループ構造を含むことから、これらのループ構造が翻訳促進に寄与していることが考えられる。

朱鷺メッセ 新潟コンベンションセンターアクセスマップ



新潟までのアクセス 世界から、日本全国から

世界からそして国内各地から直結したアクセスは、大切な時間を有効に活かせます。

東京から新潟までなら新幹線で最速97分。また空路や高速道路網が全国各地の主要都市を結び、迅速・快適なアクセスが可能です。

国際線
新潟空港からの定期路線は6つ
(ソウル・上海・ハルビン
ハバロフスク・ウラジオストク・グアム)
新潟は本州の日本海側ほぼ中央に位置、日本海を隔てて対岸の国々とも向かい合う交通の要衝にあります。こうした地理的条件から、新潟の地を舞台に国境を越えた様々な交流が展開されています。ソウル空港や上海空港などのハブ空港を経由して、世界各国からのアクセスが非常にスムーズです。

国内アクセス

■鉄道	東京 駅	→ 新幹線(上越)	1時間40分	→ 新潟 駅
	名古屋 駅	→ 新幹線(上越、東海道)	約3時間30分	→ 新潟 駅
	大阪 駅	→ 特急(北越本線)	約6時間30分	→ 新潟 駅
■自動車	仙台	→ 高速道路(磐越、東北)	約3時間30分	→ 新潟
	東京	→ 高速道路(北陸、関越)	約3時間40分	→ 新潟
	名古屋	→ 高速道路(上信越、北陸)	約6時間	→ 新潟
	大阪	→ 高速道路(名神、北陸)	約8時間	→ 新潟
■飛行機	新千歳空港	→ 航空路	約1時間15分	→ 新潟空港
	名古屋空港	→ 航空路	約1時間	→ 新潟空港
	大阪空港	→ 航空路	約1時間	→ 新潟空港
	福岡空港	→ 航空路	約1時間30分	→ 新潟空港



日本RNA学会 会報

第20号(2009年4月)

発行・製作：日本RNA学会 編集幹事

連絡先：九州大学

大学院工学研究院 井川 善也

〒819-0395 福岡市西区元岡744

電話：092-802-2866(直通)

FAX：092-802-2865

E-mail：yikawa@cstf.kyushu-u.ac.jp